

R.I.D 2550 TOCHIGI GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

2025.06

Vol.12



南間ホテル別館(益子町)



記事をタップ
ページにとびます



05

新入会員紹介

06

主要行事予定

07

会員数報告

08

コーディネーター
NEWS

09

文庫通信

10

財団
米山功労者

11

グローバル
補助金
事業報告

12

お知らせ

13

コラム



04 実施事業報告

- ◆鹿沼RC 65周年記念式典
- ◆第2グループ IM開催報告
- ◆下野上三川IRC 30周年記念式典
- ◆地区研修・協議会開催
- ◆第2550地区ゴルフ選手権大会

ユネスコ無形文化遺産
国指定重要無形民俗文化財
鹿沼秋まつり彫刻屋台

「下田町」



国際ロータリー第2550地区【栃木】2024-2025年度

My ROTARY | Rotary International



THE MAGIC OF ROTARY

ステファニー・アーチックRI会長は、ロータリーのマジックを強調します。ロータリー会員はプロジェクトを完了するたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、マジック（魔法）を生み出しているとアーチック会長は述べます。

4つの テスト

<言行はこれに照らしてから>

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深める
- 4 みんなのためになるかどうか





GOVERNOR MESSAGE

国際ロータリー第2550地区 2024-25年度ガバナー

市田 登 鹿沼ロータリークラブ



昨年の地区協議会にて地区旗を引き継いでから、あっという間の一年でした。

この間、ガバナー公式訪問や地区大会など、多くのロータリアンの皆さまと直接お会いできたことは、私にとって大きな喜びであり、かけがえのない経験となりました。その出会い一つひとつが、「ロータリーのマジック」を実感させてくれる、まさに心の財産です。

この一年間、地区内の皆さまからいただいたご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。皆さまの熱意と行動が、地区全体の活力となり、ロータリーの理念が地域社会に広がっていく姿を目の当たりにすることができました。

これからも、地区内すべてのクラブがさらに発展・繁栄し、ロータリーの精神が力強く受け継がれていくことを、心より願っております。

そして最後に、私の所属する鹿沼ロータリークラブの皆さま。

日々温かく見守り、支えてくださったことに、深く感謝申し上げます。皆さまの励ましが、私の一年間の活動を力強く後押ししてくださいました。

本当にありがとうございました。





OFFICIAL VISIT

ガバナー公式訪問

2024年8月20日(火)

小山南ロータリークラブ

会長 島中 晨一 幹事 西堀 和男

クラブ会長として2度目の公式訪問です。前回は新型コロナが流行し始めた年でした。外出禁止など色々な制限が発せられロータリーの種々の活動を催して良いかどうか悩みながらの1年でした。今はそのような制約も無く活動ができ、本日ガバナーをお迎えできることの喜びをガバナーにお伝えし、公式訪問の会長幹事会が始まりました。

市田ガバナーから現況報告書が前以て届いたことに謝意がありました。ガバナー訪問日は8月20日です。8月は夏休みなどもあり、7月中に完成させ届けるため幹事には大変な苦勞を掛けさせました。ガバナーのお言葉で苦勞が報われたのではないかと思います。

会談ではまずクラブの現況について会員

数が15名前後で留まっているため「会員増強」を最重点目標したことを説明しました。

特に若い人の入会に障害となる垣根を低くする施策です。

- 1, 年会費を下げる。
- 2, 昼時に忙しい人にも参加しやすいよう夜間例会を増やし、昼の例会と交互に開催する。
- 3, 例会と仕事が重なったら仕事優先、生業を大事にする。
- 4, 例会やクラブの催しには会社のユニホームや作業服のままで。ネクタイスーツは不要。
- 5, 「楽しいロータリークラブ」を目指す。地区目標と同意義ですが、若い人は家族を大切にします。私たちは家族みんなが楽しめるクラブです。

クラブ運営については、会員の年齢の開きが大きいため、若い会員に気遣いや遠慮をさせないよう気配りをしていきたいと申し上げました。

ガバナーからは日本全体、当地区において会員減少が著しいことを具体的な数字を上げて説明されました。会員増強が急務で



あることを強く感じました。

続く例会では、RI会長の方針についてプロジェクターを用いて、また市田ガバナーの地区目標や方針を分かりやすく説明いただきました。

最後に鹿沼の華麗な彫刻屋台を曳き回すお祭りを紹介され、ガバナーの地元愛が伝わってまいりました。

本件の出稿が遅れ関係者にはご迷惑をお掛けしました。その後の会員増強ですが1名入会し2名の入会が確定しており、計3名の仲間が増えることを報告いたします。





EVENT REPORT No.01

2025年4月20日(日) 東武ホテルグランデ

鹿沼RC 創立65周年記念式典

会長 岩本 泰史 幹事 宇賀神 康明

2025年4月20日、宇都宮市東武ホテルグランデに於きまして「鹿沼ロータリークラブ65周年記念式典」が開催されました。鹿沼市長松井正一様をはじめ、鹿沼市警察署長、鹿沼市教育長、鹿沼青年会議所理事長、市田登ガバナー、二十二修ガバナーエレクト、歴代パストガバナーの皆様、池澤達夫ガバナー補佐、など多数の来賓の皆様、スポンサークラブ、栃木ロータリークラブ様、姉妹クラブとして国際ロータリー第3470地区台湾虎尾ロータリークラブの皆様、国際ロータリー3730地区韓国原州ロータリークラブの皆様、国際ロータリー第2550地区第7グループ、鹿沼東ロータリークラブの皆様、鹿沼中央クラブの皆様、今市ロータリークラブ会長幹事様、今市きぬロータリークラブ会長副会長様をお呼びいたしまして盛大に開催され



ました。姉妹クラブ、中華民国、大韓民国、日本の国家斉唱、各記念事業の発表、目録贈呈、感謝状贈呈、などが執り行われました。懇親会では記念アトラクションとして箏の演奏に皆様耳を傾けました。最後はもちろん参加者全員で会場にいっぱいに広がり手をつなぎ輪になって、手に手つないでを皆様で歌い友情と親睦を深めました。2020年はコロナ禍で60周年記念式典の開催が中止になりましたので10年ぶりの開催が無事に執り行われた事にご参加頂きました皆様方、準備設営で汗をかいた65周年実行委員会狐塚泰久委員長を始めとする鹿沼ロータリークラブメンバー皆様に感謝を申し上げ、開催報告とさせていただきます。ありがとうございました。





EVENT REPORT No.02

2025年3月16日(日) 風月カントリークラブ

第2グループIM 開催報告

ガバナー補佐 福田 長弘

第2グループのIMを、令和6年3月16日(日)風月カントリークラブにおいて会員35名の参加で開催いたしました。当日はあいにく肌寒い日となり、参加いただいた第2グループの各クラブの皆様には感謝いたします。

当日は、講演会・ゲームアトラクション・懇親会と続く流れで開催いたしました。

講演会は那須烏山市出身で松下政経塾を卒業された渡辺慎太郎氏による「松下政経塾で学んだこと」について講演頂きました、その理念、行動体系、地域に学ぶこと様々なことがロータリー活動に通じるものがあると感じました。

ゲームアトラクションではパラリンピックの競技になっている、ボッチャをみんなで体験



レッスンを受け、クラブ対抗戦を行いました。会員の年齢を問わずゲーム戦略を考え、体を動かして、第2グループ内の友好親睦が図られ、今までのIMとは変わった取り組みを行いました。有意義時間が過ごせたのではないかと自負しております。最後に懇親会を行い改めての会員の親交を図ることができたと思います。

開催までバタバタしておりましたが、幹事クラブとなった烏山RCの会員の皆様の協力が無事IMを進められたことにほっと胸をなでおろしました。

現在ロータリークラブは変革の時にあり、それはIMの意義も再確認するときなのかもしれないと感じております。





EVENT REPORT No.03

2025年4月19日(土) フォーシーズン静風

下野上三川RC 創立30周年記念式典

会長 栗田 敏幸 幹事 大林 恒男

2025年4月19日、晴れ渡る空と鮮やかな新緑の中、真岡市のフォーシーズン静風にて、下野・上三川ロータリークラブ30周年記念式典を開催致しました。

まずは式典に向けて「メンバー全員が、健康・無事故で喜びの中、記念式典を迎えよう」という目標を掲げ、栗田会長、高山実行委員長のもと何度も打ち合わせを行い準備をして参りました。そして迎えた当日には、会員増強4名という見事な結果をもって、全員参加で式典の日を迎えることが出来ました。

新たな出発にふさわしい天気の中行われた式典では、2550地区ガバナー市田登様、小山東・真岡・真岡西・益子ロータリークラブの皆様から、真心のこもったお祝いを頂き、参加したメンバーも歓喜に包まれながら新



しい出発を切ることが出来ました。

当クラブと致しましては、式典の中で栗田会長が方針として示されました「固定概念にとらわれず、有意義なクラブ活動を行おう」を今後の目標に掲げ、会員増強を始めとした様々な活動に、今後とも全力で取り組んで参ります。

この度の式典に向けてご協力いただいた皆様、大変にありがとうございました。





EVENT REPORT No.04

2025年4月27日(日) 作新学院大学

地区研修・協議会 開催報告

地区研修・協議会実行幹事
宇都宮北ロータリークラブ

仲田 陽介

2025年4月27日(日)、作新学院大学において、「2025－26年度国際ロータリー第2550地区ロータリー指導者のための地区研修・協議会」が開催されました。

2025－26年度から国際ロータリー会長テーマを廃止することが決定されており、今年度のステファニー A. アーチックRI会長の『ロータリーのマジック』という言葉は、長いロータリーの歴史の中で、最後のRI会長テーマとなるのかもしれませんが。

新たにスタートする2025－26年度は、国際ロータリー会長テーマではなく会長メッセージとなり、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長エレクトは、『UNITE FOR GOOD (よいことのために手を取り合おう)』と呼びかけています。



そして国際ロータリー第2550地区2025－26年度二十二修ガバナーの地区目標と方針が発表されました。

『ロータリーは人をつくり友情を育む』です。

各クラブのリーダーはRI会長メッセージと地区目標と方針をご理解いただき、次年度以降のクラブ活動計画を作成する重要な一日になりました。

ロータリーの目的とロータリーのビジョンを改めて思い起こし、そして行動してもらいたいです。

基調講演はロータリーの友委員会委員長であります高野孫左エ門様(甲府RC)に『もっとロータリーの話をしていきましょう』のテーマでご講演をいただきました。

ロータリアンの基礎知識や活性したクラブ創りにむけて、詳しく丁寧にご説明頂きました。

午後からは部門別分科会が行われ、各部門とも活発な意見交換等が行われました。

分科会後は会場を元に戻し、2023-26年度地区規定審議会代表議員である中谷研一議員(足利東RC)の2025年規定審議会報告や2024-25年度一年交換受入学生・



2025-26年度一年交換派遣学生による一年交換学生スピーチが行われました。

そして質疑応答、総評、地区旗引継ぎが行われ、点鐘にて閉会となりました。

当日、無事に開催できたことに、クラブのメンバーや関わっていただいた方たち全てに心から感謝申し上げます。

そして市田登ガバナー、二十二修ガバナーエレクト、鈴木宏ラーニングファシリテーターをはじめとする地区役員の皆様、地区委員長及び委員の皆様、そして参加各クラブ会員の皆様、一日お疲れ様でした。

来年度の素晴らしいロータリー活動を祈念いたします。





EVENT REPORT No.05

2025年4月22日(火) 日光カントリークラブ

第6回 第2550地区 ゴルフ選手権大会

鹿沼ロータリークラブ 川邊 清

2025年4月22日に第6回2550地区ゴルフ選手権が日光カントリークラブで開催されました。

10月に第90回日本オープンゴルフ選手権が日光CCで開催される関係で二十二ガバナーエレクト年度として前倒しで行われました。

当日は天気も良く、計70名の参加者の皆様は2550地区キングオブゴルファーを目指して健闘されました。個人戦優勝は宇都宮陽南RCの大塚俊男さん、団体戦優勝は鹿沼RCでした。

この大会が末永く開催され参加人数が増え続けることを期待しております。次回第7回は2026年9月に開催予定です。



NEW MEMBER

新入会員



西那須野RC

とちぎん-TT証券(株)
支店長

高嶋 道雄

(たかしま みちお) 2025.4.15入会

ロータリークラブでの入会は初めてとなります。
どうぞよろしくお願いいたします。



鹿沼RC

(株)日生グリーン
代表取締役

大谷 和也

(おおたに かずや) 2025.4.24入会

樹木のリサイクル業を営んでいます。どうぞ
よろしくお願いいたします。



下野上三川RC

川俣電設(株)
代表取締役

川俣 宜美

(かわまた よしみ) 2025.4.1入会

よろしくお願いいたします。



壬生RC

栃木銀行おもちゃのまち支店
支店長

岩渕 賢司

(いわぶち けんじ) 2025.5.1入会

よろしくお願いいたします。

追悼 一物故会員一



木村 正樹

所属：宇都宮ロータリークラブ
2025年5月14日逝去(享年74歳)

99-00年度、03-04年度、04-05年度、06-07年度
クラブ会報誌委員会委員長

08-09年度 幹事

11-12年度 米山記念奨学会委員会委員長

13-14年度 ロータリー財団委員会委員長

15-16年度 会長

17-18年度 クラブ定款細則委員会委員長



24-25・25-26年度 地区内主要行事

月	日・曜日	地 区 内	場 所
6	7 (土)	RLI卒後コース	ホテルニューイタヤ
	8 (日)	高校生RYLAセミナー	宇都宮文星女子高等学校
	12 (木)	25-26年度第6回ガバナー補佐研修	ベルヴィ宇都宮
	14 (土)	インターアクト第2回合同会議	ホテルニューイタヤ
	15 (日)	米山第1回地区米山委員会・米山奨学生 卓話研修会	ホテルニューイタヤ
	15 (日)	青少年交換最終オリエンテーション及び卒業式	ベルヴィ宇都宮
7	6 (日)	25-26第1回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮
	6 (日)	25-26第1回地区運営委員会	ベルヴィ宇都宮
	27 (日)	米山クラブ委員長会議	ホテルニューイタヤ
8	3 (日)	26-27年度1年交換選考試験	とちぎ青少年センター
	8 (金)	第29回インターアクト年次大会 ホスト:宇都宮南高等学校	ホテルニューイタヤ
	19 (火)	青少年交換帰国学生報告会およびIBS 歓迎夕食会	
	22 (金)	米山奨学生学校説明会 (指定校対象)	オンライン
	23 (土)	地区クラブ活性化セミナー	ベルヴィ宇都宮
9	26 (金)	25-26年度地区大会記念ゴルフ大会	宇都宮カンツリークラブ
	27 (土)	25-26 地区大会 会長・幹事会 指導者育成セミナー RI会長代理ご夫妻歓迎晚餐会	ベルヴィ宇都宮
	28 (日)	25-26地区大会 本会議	ライトキューブ宇都宮
11	9 (日)	米山カウンセラー研修会	ホテルニューイタヤ
	16 (日)	第28回地区親善野球大会	鹿沼市運動公園野球場 (ヤオハンいちごパーク)
	22 (日)	米山面接官任命 面接官オリエンテーション	ベルヴィ宇都宮
	22 (日)	米山学友会総会・米山ナイト	ベルヴィ宇都宮
12	14 (日)	米山2026学年度奨学生選考試験	ホテルニューイタヤ
	21 (日)	25-26第2回諮問委員会	ベルヴィ宇都宮



国際ロータリー第2550地区 2025年4月会員数報告

分 区	クラブ名	例回数	会 員 数							
			7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第1グループ	大田原	3	19	19	0	0	2	2	0	2
	黒 磯	3	33	34	1	0	1	0	1	3
	西那須野	3	43	43	1	0	3	3	0	3
	黒 羽	3	7	6	0	0	0	1	-1	0
	大田原中央	2	21	18	0	0	1	4	-3	1
第2グループ	烏 山	3	14	14	0	0	0	0	0	2
	氏 家	4	27	27	0	0	0	0	0	3
	馬頭小川	3	15	16	0	0	1	0	1	0
	高根沢	4	11	12	0	0	1	0	1	1
第3Aグループ	宇都宮	4	93	89	0	1	9	13	-4	4
	宇都宮西	3	64	67	1	0	6	3	3	0
	宇都宮北	3	38	41	1	0	3	0	3	0
	宇都宮90	4	38	39	0	0	2	1	1	6
	宇都宮陽北	4	48	60	3	0	17	5	12	8
第3Bグループ	宇都宮東	4	102	99	0	1	2	5	-3	0
	宇都宮南	4	56	56	1	0	6	6	0	7
	宇都宮陽東	5	48	49	1	0	1	0	1	10
	宇都宮陽南	4	19	18	0	0	0	1	-1	5
	宇都宮さつき	4	23	23	0	0	1	1	0	4
第4グループ	真 岡	4	49	49	0	0	3	3	0	0
	益 子	4	32	34	0	0	3	1	2	3
	真岡西	4	38	40	2	0	3	1	2	5
	下野上三川	4	21	24	2	1	4	1	3	3
第5グループ	小 山	3	18	22	0	0	5	1	4	1
	小山南	4	15	16	0	0	1	0	1	2
	小山東	2	22	22	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	24	26	0	0	2	0	2	0
	小山中央	3	23	24	0	0	1	0	1	2
第6グループ	栃 木	5	43	44	1	1	3	2	1	6
	栃木西	4	29	30	0	1	3	2	1	0
	岩 舟	2	8	9	0	0	1	0	1	0
	壬 生	4	16	15	0	0	0	1	-1	1
	栃木南	4	35	37	0	0	3	1	2	8
第7グループ	日 光	4	17	17	0	0	1	1	0	4
	鹿 沼	3	63	64	1	0	3	2	1	2
	今 市	2	37	41	0	1	6	2	4	1
	鹿沼東	4	41	44	2	0	4	1	3	7
	鹿沼中央	2	11	11	0	0	0	0	0	1
	今市きぬ	2	26	26	0	0	2	2	0	0
第8グループ	足 利	2	20	24	0	0	5	1	4	2
	足利東	3	38	37	0	0	1	2	-1	3
	足利西	2	10	12	0	0	2	0	2	0
	足利わたらせ	3	28	28	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐 野	2	47	49	0	0	3	1	2	0
	葛 生	3	39	39	0	0	0	0	0	0
	田 沼	3	43	44	0	0	4	3	1	0
	佐野東	2	21	21	0	0	0	0	0	2
	47RC		1533	1579	17	6	119	73	46	112

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2025年6月号 No.1

発行：Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第1 地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 寺嶋 哲生（柏 RC）

2007年に策定されたRI戦略計画において、3つの戦略的優先事項が公表されました。即ち、①クラブのサポートと強化、②人道的奉仕の重点化と増加、③公共イメージと認知度の向上です。永年、職業倫理の実践がロータリーにおける最も重要な目標と考え、かつ、決議 23-34・(6)・(F)に謳われた文言を「陰徳の美」として捉えて来た日本のロータリアンには、俄かには受け入れがたい方針転換であったかも知れません。しかし、1905年の設立から順調に拡大・成長して来たロータリーが、1980年代に入ってから会員数が横ばいとなり、加えて、先進国の会員数はむしろ減少に転じた現状を見れば、「ロータリーは時代に適応しなければならない」とする2015年10月の理事会決定を待つまでもなく、当然に受け入れるべきチャレンジであったものと感じます。これはロータリーに限った事ではなく、刻々と変化する社会のニーズに対応すべく日々改善を継続する企業経営者であれば、皮膚感覚で理解している事柄でありましょう。



私は、「公共イメージの向上」とは、「信用を培う事」であると思います。例えばレッド・クロス、このエンブレムを見れば世界中の誰もが「赤十字」のエンブレムである事を認識している。そしてこのエンブレムを見れば、例え戦場で銃撃を繰り返す兵士であっても銃撃の手を止める。何故なら兵士達は、このエンブレムを掲げている人達は、敵味方関係なく自分達の命を救ってくれる人達である事を理解しているからです。では、私達が付けているロータリーのエンブレムは如何でありましょうか？RIの呼ぶ「誇りのシンボル」を見れば、世界中の方々がロータリーのエンブレムである事を認識し、これを掲げるロータリアンは世界平和を希求し、地域社会・国際社会・青少年に手を差し伸べようとする意志を持つ人達である、そう理解して下さいませんか。ロータリーもそうだろう、RIの戦略計画は私達ロータリアンにそんな提案をしているのである、私はそう理解しております。

「One Profits Most Who Serves Best」、私達日本人は古来からこれと全く同じ感性を持っております。即ち、「情けは人の為ならず、巡り巡って己が為」です。私達の行う「Take action」は、目的を共有して互いに協力することで会員同士の友情を育み、他に感謝される事により私達の心が充足し、ロータリー会員とロータリーに対する社会からの信用を築き、培われた信用は私達の精神的・経済的プロフィットなる。私は、これがロータリーの掲げる不変の哲学である、そう理解しております。



地域リーダーになろう

第2地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 辻 正敏（津 RC）

「重要なお知らせ：ロータリーコーディネーターの新しい名称について」が届きました。今までの名称に「会員増強」が加わり、「ロータリー会員増強コーディネーター」となるそうです。これはコーディネーターの専門性をより明確に表し、会員がよりよく理解できるように、そして会員増強や参加促進に取り組む貢献を表し、他の地域リーダーの役割名との整合性をとるものとあります。確かに地域リーダーになった者にはその役割はわかりますが、クラブ会員にはわかりにくかったことも事実でした。今回の名称変更でより明確にその役割が会員増強とクラブ新設、会員基盤の強化であることがわかります。

私が入会したのは1980年4月でした。もう45年以上の時間が流れました。当時は怖い怖い先輩に何をしたらよいのかと聞くと、「真面目に仕事して、得た利益から出来る寄付すればよい。ただそれだけじゃ」との答えでした。時間が経過しクラブの中堅になり、幹事も会長も経験させていただきました。今度は聞かれる立場になりました。昔私がいただいた先輩の言葉をそのまま返す訳にはいきません。例会の大切さ、財団寄付がどのように役立っているか、つまりロータリーの素晴らしさを自分なりに話してきました。今も「四つのテスト」の素晴らしさ、「寛容の心」の尊さは話します。ところが大切だと言ってきた例会は月2回でよい、メイクアップは年度内でよいなど今までと異なる方向に変化していきました。そう、時代は動き、変わっていつているのです。

そして2022-23年度から私のコーディネーター補佐が始まりました。最初は何が何だか、何をすればいいのかわからず手探り状態でした。野口さんの指示がなければ何もできませんでした。そこへ3-year rolling goals。国際ロータリーも地域リーダーと一緒に作り上げていこうとしているようです。国際ロータリーは変化に敏感です。会員増強を真剣に考えないと会勢を保てません。やはり数は勢いに繋がります。何とかしてロータリーを世界一の奉仕者の団体にしたいのです。変化を味方につけて。私も賛成です。自分が入会している団体が胸の張れる、誇りの持てるものにと考えます。最近よく国際ロータリーに対し否定的な発言を耳にすることがあります。自分の入っているロータリーを悪く言うのは言語道断です。一人でも多くの会員が、地域リーダーを今まで以上に理解し、できればその役職に就き活動すれば、さらにロータリーは未来を見据えた前向きな団体として会員数やクラブは自然に増加していくのではと感じます。

皆さん、地域リーダーになりましょう。クラブにだけ居たのでは変化を感じることは出来ません。一人でも多くの若い会員が地域リーダーになり、ロータリーの中での変化を感じて欲しいものです。3年の任期を全うしての退任に際し、普通なら出来ない勉強をさせていただきましたことに感謝です。ありがとうございました。





第3地域 恒久基金/大口寄付アドバイザー 末長 範彦（岡山 RC）

第3地域の恒久基金・大口寄付アドバイザーを仰せつかっております末長と申します。

「恒久基金」「大口寄付」と聞くと、誠に残念なことに、大多数の皆さまができれば避けて通りたいと思われることでしょう。ご存じのように、国際ロータリーは奉仕に軸足を置き、なかでもポリオ根絶を最優先項目とするほか、今年2月にはトルコに新「平和センター」を創設して平和に貢献する人材を養成し、世界各地で頻発する災害の復旧を支援し、また毎年選定する「大規模プログラム補助金」等の「人道奉仕7重点項目」に奉仕実践しています。そして世界中のクラブと地区に DDF を活用する奉仕事業を推奨しており、究極的には「世界平和」の実現を目指しています。



これらの奉仕実践には皆さまからの温かいご支援が不可欠であり、私たち E/MGA は一件 2 万 5000 ドル（日本では 1 万ドル）以上の大口寄付をお願いしております。ぜひ、援助を必要としている人たちのことを見聞きした時や、ロータリーや事業でのお役職にご就任またはご退任を記念して、ご家族のお祝いやご入学・ご卒業等の人生の節目を迎えられた時にも、奉仕の理念を実現すべくロータリー財団（TRF）へのご支援をお願いしたいと存じます。

また、「恒久基金」は元本を据え置きしてその運用益だけを奉仕に充てることで、奉仕基盤を維持しながら奉仕が継続実施できる基金制度です。TRF は 2025 年までに 20 億 2500 万ドルの残高達成を目標としていますが、現在のところあと少し未達となっています。恒久基金には、寄付者のご尊名等を冠して個別に運用結果を報告する「冠名基金」制度があります。これを活用してあなた様およびご家族のお名前や寄付目的等を TRF に登録して、皆さまのご厚情溢れるご支援・ご貢献を永久に記録に残されることをお奨めします。

人間には、自己の利益を優先する反面、他の恵まれない人々を援助したい気持ちもあり、ロータリーにはこれらの相反する気持ちを調整する機能があるとよく言われます。役目柄、重ねてお願いいたしますが、援助を必要としている多くの人たちに効果的な奉仕を実践するために、国際ロータリーのロータリー財団へ、どうぞ心温まるご支援をよろしくお願い申し上げます。





文庫通信 392 号：国際ロータリー情報 2025 年規定審議会 他

「[2025 年規定審議会 決定報告書](#)」 R.I./2025/34P

「[2025 年規定審議会記事\(RIWEB サイト\)](#)」 R.I./2025/2P

「[2025 年規定審議会提出立法案一覧\(最終結果\)\(刀根氏纏め\)](#)」 編：刀根荘兵衛/R.I./2025/11P

「[2025 年規定審議会結果\(全\) \(情報研究会版\)](#)」 編：情報研究会 杉田博/R.I./2025/71P

「[2025 年規定審議会議事録\(非公式\)](#)」 刀根荘兵衛・吉田知弘(校正) /2025/148P

「[ロータリー章典 2025 年 4 月版改正点\(2024 年 10 月版から\)\[参考訳:非公式/私的翻訳\]](#)」 翻訳：杉田博/R.I./2025/58P

「[ロータリー財団章典 2025 年 4 月版改正点\(2024 年 10 月版から\)\[参考訳:非公式/私的翻訳\]](#)」

翻訳：杉田博/R.I./2025/20P

「[ロータリー章典 2025 年 4 月 英語版 \[参考訳付:非公式/AI 翻訳\]](#)」 R.I./2025/551P

「[ロータリー財団章典 2025 年 4 月 英語版 \[参考訳付:非公式/AI 翻訳\]](#)」 R.I./2025/269P

「[ロータリー財団管理委員会 議事録 2025 年 2 月 英語版 \[参考訳付:非公式/AI 翻訳\]](#)」 R.I./2025/12P

「[ロータリー財団管理委員会 議事録 2025 年 2 月 日本語版\[参考訳:非公式/私的翻訳\]](#)」 翻訳：刀根荘兵衛/R.I./2025/19P

※参考訳は RI 非公式であり、私的翻訳または AI 翻訳のため正確ではないこともございます。あくまで参考として「公式英文書」ご理解の一助としてご活用ください。なお、該当 PDF ファイルの末尾 (-2.pdf) が参考訳です。

PD の閲覧には「ユーザー名」パスワードが必要です。不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2 丁目 7 番 16 号 第 3 小森谷ビル別館 6 階
TEL ☎3 ☎433)6456 、FAX ☎3 ☎459)7506



2025.1～2025.5

ロータリー財団 認証者

Paul Harris Fellow

ポール・ハリス・フェロー

安齋 哲夫	真岡
荒井 覚	小山北
板橋 智	小山北
河野 広兵	小山北

原 賢一	宇都宮東
野添 將嗣	宇都宮東
小堀 彰久	宇都宮さつき
鈴木 秀範	宇都宮西

増田 仲夫	宇都宮
大澤 章利	宇都宮
佐々木 英典	宇都宮

Multiple Paul Harris Fellow

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

平野 良和	益子	3回
淡路 晃	真岡	1回
川堀 哲男	真岡	1回
柳田 尚宏	真岡	1回
杉田 貞一郎	真岡	2回

寺崎 貴志	西那須野	3回
秋元 吉博	宇都宮東	3回
濱崎 崇	宇都宮西	2回
野田 和郎	宇都宮西	2回
星野 隆一	宇都宮西	3回

村井 邦彦	宇都宮西	3回
須賀 英之	宇都宮西	3回
岩原 正樹	宇都宮西	5回
中島 祥二	宇都宮西	5回
稲木 義友	宇都宮西	7回
柴田 彰夫	宇都宮	1回
木村 正樹	宇都宮	2回

米山功労者

河邊 勝実	佐野	10回
小金 幹典	真岡	1回
廣澤 雅信	真岡	1回
篠原 英	真岡	1回
安田 政昭	真岡	1回
阿久津 亮	真岡	1回

福本 光夫	西那須野	8回
池嶋 英哲	西那須野	8回
阿部 道	宇都宮90	2回
糸井 規雄	宇都宮90	5回
戸野 香菜恵	大田原中央	1回
植木 盛雄	大田原中央	2回

藤沼 孝幸	大田原中央	4回
君島 孝明	大田原中央	4回
小野田 裕	大田原中央	5回
川永 作衛	大田原中央	5回

米山功労クラブ

クラブ名	回数
真岡	47回
西那須野	46回
足利	31回
宇都宮90	38回
大田原中央	11回
佐野	46回



グローバル補助金事業 報告 補助金番号:GG2568574

タイ・ナコンラーチャシーマ県ソンサン公立病院への医療機器寄贈プロジェクト

鹿沼ロータリークラブ

グローバル補助金推進委員 大貫 定之

このたび、鹿沼ロータリークラブでは当クラブ初となるグローバル補助金事業を実施いたしました。本報告にあたり、月信の紙面をお借りし、本プロジェクトにご協力いただきました地区関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

1. プロジェクトの経緯と目的

本プロジェクトは、タイ王国ナコンチャラマ州にあるソンサン公立病院に対し、以下の医療機器を寄贈する事を目的とした、持続可能な人道的支援活動です。

- ・母親と新生児向けのカラードップラー超音波機器
- ・呼吸器疾患患者向けのスパイロメーター
- ・ベッドサイドモニター

2024 年 7 月、実施国側であるタイの 3350 地区パトゥムアン・ロータリークラブおよび 3340 地区クイニング・モ・コラート・ロータリークラブより要望書を受領いたしました。総予算額は 38,760 ドル(5,814,000 円)。本事業は、「ロータリーの重点分野」である「疾病予防と治療」に該当すると判断し、国際ロータリー第 2550 地区に対して DDF(地区補助金)15,000 ドル(2,250,000 円)の申請を行い、承認を得ました。その後、タイ側より国際ロータリー財団へグローバル補助金の申請がなされました。

2. グローバル補助金の認可と資金の流れ

2024 年 11 月 28 日(地区大会の前々日)、本プロジェクトは正式にグローバル補助金事業として認可されました。ロータリー財団(World Fund)からは、DDF 総額に対し 80%の上乗せ額である 16,560 ドル(2,484,000 円)の補助金が決定しました。その後、2024 年 12 月に鹿沼ロータリークラブより現金拠出金として 1,575 ドル(236,250 円)をロータリー財団へ入金し、すべての手続きを完了。補助金は 2025 年 2 月 6 日、タイ・パトゥムアン RC の指定銀行口座へ送金されました。



3. 贈呈式と参加メンバー

贈呈式は2025年5月23日、タイ東北部ナコーンラーチャシーマ県ソンサン公立病院にて開催されました。援助国側である鹿沼RCからは10名、第2550地区国際奉仕委員会の善林委員長および岡崎委員の2名を含む計12名が参加いたしました。実施国であるタイ側からは、3350地区パトムアンRCよりパストガバナーのチャイワイ・プラモンゴル様にご参加いただきました。現地では、病院関係者および実施国側RCであるクイニング・モ・コラートRCとの交流の場が設けられ、行政や病院代表者によるスピーチ、記念品の交換などを通じて親交を深めました。なお、バンコクからソンサン病院までの往復約670km移動時間約12時間に及ぶ行程でしたが、非常に意義深い活動となりました。

4. 今後の展望

本プロジェクトを通じて、タイ東北部地域における母子保健および呼吸器系医療の質的向上が期待されます。また、クラブ間の国際的な連携が深まり、継続的な支援と新たな協働の基盤となることが見込まれます。バンコク周辺では経済発展が進み、医療設備も整ってきている一方で、地方部では依然として未整備の医療施設が多く存在します。今後もこうした地域への継続的な支援を通じ、ロータリーの理念に基づいた奉仕活動を実践してまいりたいと考えております。

5. 資金構成(米ドル)

区分	クラブ名	地区	現金拠出	地区補助金 DDF
実施国	パトムアン RC	3350	-	700 (¥105,000)
実施国	クイン・モ・コラート RC	3340	-	5,000 (¥750,000)
援助国	RID2550 地区	2550	-	15,000 (¥2,250,000)
援助国	鹿沼 RC	2550	1,500 (¥225,000)	-
小計	-	-	1,500 (¥225,000)	20,700 (¥3,105,000)
R財団補助金(WF)	-	-	-	16,560 (¥2,484,000)
総予算	-	-	-	38,760 (¥5,814,000)

(レート 1ドル=¥150)

6. 購入医療機器(米ドル)

購入医療機器	金額
母親と新生児向けのカラードップラー超音波機器	25,833 (¥3,874,950)
呼吸器疾患患者向けのスパイロメーター	7,500 (¥1,125,000)
ベッドサイドモニター	4,167 (¥625,050)
プロジェクト管理費	1,260 (¥189,000)
合計	38,760 (¥5,814,000)

(レート 1ドル=¥150)



ミャンマー（D3350）大地震災害義援金送金報告

前略 平素より地区運営にご理解とご協力を賜り有難うございます。

先日皆様をお願いいたしました「ミャンマー大地震災害義援金」ですが、地区内 38 クラブよりご協力いただきまして、1,300,000 円が集まり、5/29 取りまとめていただくガバナー会へ送金いたしました。

皆様のご協力に感謝申し上げます。被災地の方々の一日も早い復興を祈念しますとともに、皆様のご協力に感謝申し上げます。
有難うございました。

国際ロータリー 第 2550 地区
ガバナー 市田 登



コラム



今月号表紙

『南間ホテル(ましこ悠和館)』益子町

かつて奥日光湯元温泉にあったホテルで、別館は昭和20年8月、ここに疎開していた上皇陛下が父・昭和天皇によるラジオ放送を聴いた建物でもあった。昭和48年に益子窯元のつかもとに譲渡された後平成28年度に益子町へ寄贈。

ユネスコ無形文化遺産 国指定重要無形民俗文化財

鹿沼秋まつり彫刻屋台

今月の彫刻屋台：「上田町」

現在の白木造屋台は、市制5周年を記念して、昭和28年に新造された。古くからの屋根を模し、その後造られた鹿沼の屋台のモデルにもなった。新造屋台に、旧屋台の彩色彫刻がとりつけられている。その彩色された彫刻は、明治に火災のあった上田町旧屋台のうち焼失を免れたもので、10種21枚ある。その裏銘に、「文政5年6月」・「鹿沼上田町中 宇都宮大町後藤周次正秀」・「日光御五重塔彫物方棟梁 後藤周次正秀」とあり、彫師と製作年代がわかる。1組の鬼板(おにいた)と懸魚(げぎょ)は見事な玉眼入りの「飛竜の図」、内室欄間は「牡丹と唐獅子」、内室琵琶板は「菊と小鳥」の優雅な作。旧彫物の傷みが激しく、平成2年から、大田原出身の彫工嘉門(黒崎孝雄)により、後藤周次正秀を模した復元作業が開始され、3年の歳月をかけて屋台全面の白木彫彫刻が完成した。平成5年6月には、石塚知興の作とされる脇障子もとりつけられ、欄間と腰のついた額入り彫刻障子は、見事なものである。

(平成2年市指定有形文化財)



「上田町」

市田ガバナー公式Instagram

市田ガバナーの活動の様子など
情報発信しています！
ぜひフォローお願いします。

@GOVERNOR_ICHIDA.2550



2025年6月1日

ガバナー月信編集チーム

【発行責任者】地区幹事 金子昭彦(鹿沼RC)

【メンバー】櫻井武彦・瀬谷一世・星野詠一

香川道雄・内野義忠・浅野知則 以上 鹿沼RC

